

「アウクスブルク同盟戦争」という用語には別称があり、日本では一般的とは言い難い。

両国の対立は、名誉革命直後の1689年にはじまったアウクスブルク同盟戦争から、断続的な戦争のかたちをとるにいたった。1701年にはじまったスペイン継承戦争^{けいしやう}では、ユトレヒト条約¹⁷¹³によって、イギリスはフランスからニューファンドランドなどを獲得した。さらに、1739年からスペインと開戦(ジェンキンズの耳の戦い)したが、翌年にはフランスがスペイン側にたつたにもかかわらず、この戦争もイギリスの勝利に終わった(オーストリア継承戦争^{p.209})。ついで、七年戦争後の1763年のパリ条約^{p.210}では、フランスからカナダとミシシッピ以東のルイジアナ、スペインからフロリダを獲得した。

(関連修正)

(p.217 6～8行目)

戦争が次々と勝利したうえ、議会在承認した税には、絶対王政の時代のよ
うな国民の不満は爆発しなかつた。18世紀にイギリスとフランスが断続的
に展開した戦争で、イギリスが圧倒的に優位にたつた原因である。

両国の対立は、名誉革命直後の1689年にはじまったアウクスブルク同盟戦争(プファルツ継承戦争)から、断続的な戦争のかたちをとるにいたった。1701年にはじまったスペイン継承戦争^{はいしやう}では、ユト_{-p.209}レヒト条約₁₇₁₃によって、イギリスはフランスからニューファンドランドなどを獲得した。さらに、1739⁰年からスペインと開戦(ジェンキンズの耳の戦い)したが、翌年にはフランスがスペイン側にたったにもかかわらず、この戦争もイギリスの勝利に終わった(オーストリア継承戦争)。ついで、七年戦争_{-p.209}後の1763年のパリ条約では、フランスからカナダとミシシッピ以東のルイジアナ、スペインからフロリダを獲得した。_{-p.210}

(上の修正により行を調整)

戦争に次々と勝利したうえ、議会在承認した税には、国民の反発もなく、18世紀のイギリスとフランスの戦争では、イギリスが圧倒的に優位にたった。